

# 脱炭素は、削減目標とロードマップが肝要！

## 中長期CO<sub>2</sub>目標と 削減ロードマップ策定 コンサルティング

詳しいご内容・お打ち合わせをご希望の場合は、  
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>  
お問い合わせ番号：03-4531-4307



お問い合わせフォーム

## このような課題はありませんか？

- スコープ1,2の中長期目標が設定・開示できておらず、早々に対応が必要
- 他社の様な大幅なCO<sub>2</sub>削減目標の実現は困難であり、目標のレベル感を知りたい
- SBT基準に基づきスコープ1,2の削減目標を設定したが、達成の道筋が見えていない
- CO<sub>2</sub>削減の施策としてどのようなものがあるかわかっていない
- まずは省エネでどこまで行けるのかの見極めをしたい
- 再エネ導入や低炭素電力への切り替えなどを具体的に計画したい



**脱炭素は、削減目標とロードマップが肝要！**

## JMACのコンサルティングの特徴

中長期のCO<sub>2</sub>削減目標設定及びそれに向けてのロードマップ策定は、まさに経営戦略の重要な一部です。  
JMACは長年の経営戦略コンサルティングのノウハウを踏まえて実現可能なロードマップ策定のご支援を行っております。

現在は、脱炭素・カーボンニュートラルの流れの中で、SBT(Science Based Target)基準に準拠した従来では考えられないほどの高い削減レベルが求められています。当然その目標達成の道のりは容易でなく、そのロードマップの策定には多くのコンサルティングノウハウが重要な意味を持ちます。



具体的には、基準年/目標年/目標CO<sub>2</sub>排出量の設定方法、目標年のBAU排出量(Business As Usual:成行き排出量)の設定方法、目標年の削減すべきCO<sub>2</sub>量(GAP)の設定方法、そしてGAPを埋めるための施策とそれらのもっとも合理的な組み合わせの策定などを、**短期間のうちに明確化するスキルや知識、ネットワークが必要になります。**

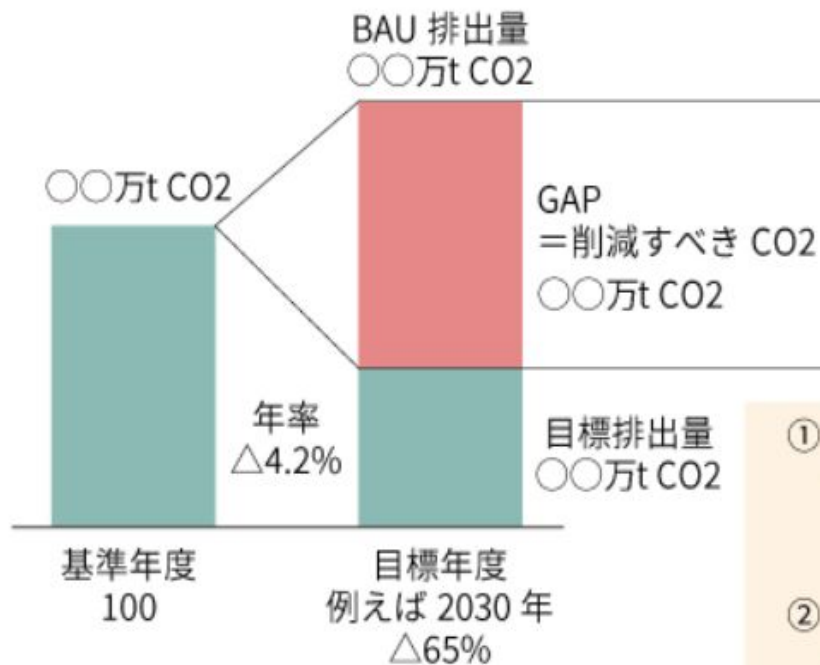
また、CO<sub>2</sub>削減の施策では、まずは徹底的にエネルギー消費を抑える脱炭素型の生産プロセスに転換することが重要です。

### JMACの 特徴

JMACでは省エネルギーのコンサルティングノウハウを踏まえて、**簡易省エネ余地診断**を開発しました。これにより短期間で省エネでどの程度CO<sub>2</sub>削減が可能かが明確になります。さらに残りの削減すべきCO<sub>2</sub>量から、再エネや低炭素電力の導入量とコスト試算が可能です。

## 目標設定

BAU  
(Business as usual : 成り行きの結果)



## 削減施策

CO2 目標に対する主な施策と着手順

- 省エネ活動
- 創エネ (再エネ導入)
- 低炭素電力への転換
- 環境価値取引の活用

- ① これらの施策をどうミックスさせて推進するかを計画する必要があるが、まずは活動のベースとなる省エネでどこまで出来るかを明確化する
- ② 将来予測も含めたコストや導入可能量、導入上の課題などを明確化する。

対象  
部門

全業種(あらゆる製品、サービス、事業)に対応可能

# コンサルティングの進め方

貴社のニーズを伺ったうえで具体的なコンサルティング内容を設計します。  
以下に中長期CO<sub>2</sub>目標と削減ロードマップ策定コンサルティングステップの一例を示します。

<b>①スコープ1,2排出量の算定</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 全各拠点の電気・ガス・重油、軽油等の算定状況の確認</li><li>● 不足、不備等の明確化、対応検討</li><li>● 各拠点の電気のCO<sub>2</sub>排出係数の確認</li><li>● 電気、ガス、重油、軽油のCO<sub>2</sub>換算</li></ul>
<b>②スコープ1,2量の検証</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● スコープ1,2量の確認の構想立案(対象年度決定、全拠点の網羅状況確認、推進タイムスパン検討等)</li><li>● サンプルング検証対象拠点の選定と元データ(購買データ等)の収集準備</li><li>● サンプルング各拠の元データと検証すべきスコープ1,2量との突合による検証実施</li><li>● 検証結果に基づく対応策の検討</li></ul>
<b>③目的、ありたい姿の検討</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 2050年、2030年の脱炭素・カーボンニュートラル社会のイメージ共有化</li><li>● 会社を取り巻く状況の変化のディスカッション</li></ul>

<b>④2050年のCO<sub>2</sub>目標設定</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 他社の2050年目標調査</li><li>● 2050年の目標案設定</li></ul>
<b>⑤ 2030年のCO<sub>2</sub>目標設定</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 国や国際団体などの目標要請水準調査</li><li>● 他社の2030年目標調査</li><li>● 2030年の目標案策定</li></ul>
<b>⑥2030年目標達成の方策整理(ロードマップ)</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自社のCO<sub>2</sub>排出状況の整理(現状取れているエネルギー消費量の区分を明確化。会社別、機能別、エリア別、用途別、設備別など)</li><li>● 省エネルギー計画の確認(省エネ活動、設備投資計画など)</li><li>● 2030年目標達成に向けた方策の検討</li><li>● 省エネによる削減量の概算予測</li><li>● モデル拠点の資料調査、現場視察による簡易省エネ余地診断実施</li><li>● モデル拠点の用途別エネルギー使用量の把握</li><li>● 低炭素電力のCO<sub>2</sub>排出係数やコスト等調査</li><li>● 再生可能エネルギーの導入可能性検討</li><li>● 目標に向けての概算の経費・投資額の明確化</li></ul>

## Case①

業界	業務用電気製品製造販売
テーマ	中長期脱炭素目標策定とそれに向けてのロードマップ策定
背景	大手顧客からSBT認定取得の要望があり、SBT基準に基づく中長期目標設定が急務になった。それとともに、どのように削減するかロードマップの策定を行うべく、コンサルティングを依頼した。
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 基準年度、目標年度、CO<sub>2</sub>削減レベルの設定 (SBT考慮)</li><li>● 2030年BAU排出量の想定と削減量 (GAP) 明確化</li><li>● 主要工場におけるエネルギー削減余地診断実施、会社全体としての省エネ余地見積</li><li>● 電力由来CO<sub>2</sub>と燃料由来CO<sub>2</sub>のそれぞれの削減目標策定</li><li>● 電力由来のCO<sub>2</sub>削減手法の検討 (創エネ (自己投資/PPA太陽光発電導入) 余地、低炭素電力切替</li><li>● 各種CO<sub>2</sub>削減手法の導入時期明確化</li><li>● まとめ、経営層向け報告会</li></ul>

## Case②

業界	物流倉庫
会社プロフィール	冷凍冷蔵物流、冷凍倉庫を運用
テーマ	中長期脱炭素目標策定とそれに向けてのロードマップ策定
背景	プライム市場企業として気候変動関連情報の開示は必要と考え、その中の一つのテーマとして業界に先んじた中長期CO <sub>2</sub> 排出目標の策定、およびそれに向けてのロードマップの策定を行いたく、コンサルティングを依頼した。
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 基準年度、目標年度、CO<sub>2</sub>削減レベルの設定 (SBT考慮)</li><li>● 2030年BAU排出量の想定と削減量 (GAP) 明確化</li><li>● 主要物流倉庫におけるエネルギー削減余地診断実施、会社全体としての省エネ余地見積</li><li>● 電力由来CO<sub>2</sub>と燃料由来CO<sub>2</sub>のそれぞれの削減目標策定</li><li>● 電力由来のCO<sub>2</sub>削減手法の検討 (創エネ (自己投資/PPA太陽光発電導入) 余地、低炭素電力切替</li><li>● 燃料由来のCO<sub>2</sub>削減手法の検討 (運送業務効率化、エコタイヤ普及、バイオ燃料化、次世代車両代替など)</li><li>● 各種CO<sub>2</sub>削減手法の導入時期明確化</li><li>● まとめ、経営層向け報告会</li></ul>



## 面談

貴社課題について理解し、JMACのアプローチの説明、ご提案の方向性についてご相談します。  
必要に応じて、NDAをご準備します。  
現場視察により理解を深めさせていただく場合もございます。

## 提案

お打ち合わせ内容を踏まえて、貴社課題に添ったコンサルティング計画提案書をご提示させていただきます。

## 契約

JMACご提案を採用いただきましたら、業務委託契約書の締結準備をさせていただきます。

## 実施

コンサルティングを実施スタートいたします。  
キックオフを経て、

- 現状分析
- 関係者ミーティング
- 改善支援
- 推進報告会

を実施しながら課題解決に努めます。

お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>  
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307